

葉山町子ども・子育て会議 委員自主打合せ結果（第4回）

1 開催日時

平成26年9月6日（土） 19時～21時

2 開催場所

葉山町役場 職員食堂

3 出席者

（委員）

武谷広子副会長、柴田みゆき委員、鹿嶋千尋委員、野北康子委員、溝端裕子委員、菅原美子委員、鈴木佳野委員、木下智美前委員、井上恵子前委員（委員7名、前委員2名出席）

（子ども育成課）

大園主査（1名）

4 内容

(1) 平成26年7月19日に実施した一般向けイベントの振り返り

事前の打合せ不足。盛り上がった一方で、グループワークを含め進行にもたつきがあった。

託児が少なかつたため、来なかつた人が多かつた。また、託児が締切りになつたときの対応を詰めておく必要があつた。

予想してつたよりも人数が集まつた。3連休の初日で日程はよくなかつたが、当日参加も多かつた。チラシなどの周知、PRはうまくつたのではないか。

導入の話とグループワークがうまく連動してつなかつた。どちらも中途半端になり、新制度について具体的な内容を知ることはできなかつた。

グループワークでは、葉山での子育てのお得感がないという意見が多かつた。子育てについて、他の地域にあることが当たり前になつてつて、ないことへの不満が強くなつてつる。

参加者から意見は出つたが、結論を得るところまではいけなかつた。

今回の機会で、町の職員と保護者の間で気持ちの部分で近づけたのではないか。

(2) イベントの今後の展開について

新制度については行政が一番よく把握しているので、制度の説明は行政で対応する。

意見交換会は勉強会と兼ねたものにする。グループワークをすることはあらかじめ周知する。

テーマを絞って、みんなが関心のあるテーマを設定する。

まだ内容が決まっておらず、これから施策化していくものについて意見を聞く。例えば、まだ方向性が固まっていないものとして、子育ての担い手や利用者支援事業などがある。

利用者支援事業は、人によってイメージが違う。保育の相談や転入者向けの情報提供など切り口はいろいろある。

ぼけっとは長柄の人にとっては遠く、もっと身近に相談できる場所があるとよい。あるいは、イベントのとき出るバスやのりあいタクシーなど交通面が改善されるとよい。

テーマ型の勉強会として続けていく。スタッフも勉強して、参加者とともに意見を出し合う。視察など他の先進例もしっかりみてる。

お母さんたちにエネルギーが残っている間に形にすることが大事。

町長だけでなく議員にも呼びかける。

(3) 次回イベントの概要

準備期間を考えて、開催時期は12月以降とする。

12月～来年3月までの間に2テーマで実施する。テーマ案は「利用者支援事業」と「ひろば事業（地域子育て支援拠点事業）」とする。

全体の構成は前回と同じで、導入の講演＋町からの説明＋グループワークとする。講師の先生はできれば前回と同じにする。

実施日は土日の午後とする。

開催時間は保護者の負担を考えて2時間～2時間30分程度とする。

概要について、次の子ども・子育て会議に提案し、他の委員の了承をとる。了承が取れ次第、実施に向けて準備を始める。

(4) その他

子育ての施設について広域利用はできないか。例えば、逗子との共同利用ができると便利。逗子市のプールや逗子駅の駐車場は、市外の利用者は高くなる。市民活動できる施設の利用についても同じ。

(以上)